

テニス部顧問の先生方へ

日頃からテニス専門部の職務および活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

長く続いたコロナ禍での活動も、その多くが元通りに戻ってまいりました。今年度も、選手たちが安全に、安心して大会へ参加できるよう大会運営していきたいと考えております。先生方にはご協力いただくことが多いと思いますがよろしくお願いたします。

さて、今年度テニス部顧問をされるすべての先生方にご一読いただきたくお願いたします。また、異動などともなつて顧問間の引き継ぎが必要な場合にもご利用ください。

☆継続して顧問をされている先生方にも、お読みいただきたいこと。

1. 選手登録について

長野県テニス協会に選手登録を済ませた選手でなければ、協会が主催するすべての大会に出場できません。具体的には、全日本ジュニア U-18 各地区予選(5月)、全日本ジュニア U-16 県予選(6月)、国体予選各地区(7月)、全日本ジュニア選抜室内各地区予選(8月)、新人テニス選手権(10月)です。選手登録は、生徒が個人でスマートフォンなどを用いて、長野県テニス協会のHPで必要事項を入力し、登録料の年間1,000円を銀行へ振り込むことで完了します。

また、上記の長野県テニス協会主催大会については、個々の生徒が長野県テニス協会のHPから、個人の責任でエントリーする形になりますが、それと同時に、顧問の先生には「れじす太」※1によって作成したファイルを、指定されたアドレス(長野県テニス協会ジュニア委員など)に送信していただきたくお願いたします。

※1『れじす太』は高体連テニス専門部HPからダウンロードする選手管理ソフト

2. ゲームシャツ規定について

試合用のゲームシャツは、「丸首Tシャツタイプ」も着用可能です。ただし、認められるのは、あくまで「ゲームシャツ」です。学校の体育着のTシャツやカジュアルTシャツは不可です。スポーツTシャツであっても、練習用のTシャツや規定以上の大きさのロゴがプリントされたTシャツも不可です。メーカーカタログなどに“ゲームシャツ”として掲載されているものに限りませのでご注意ください。

※ロゴ…YONEX、SRIXSONなどのメーカーのマークのこと。テニス競技では、ゲームシャツのプリントできるロゴの大きさや数がルールで決まっています。詳しくは、全国高体連テニス専門部のHPでご確認ください。

3. セルフジャッジの試合で、審判台に座る者(ローピングアンパイア)の職務と権限

長野県テニス協会主催大会などで採用されるセルフジャッジの試合では、審判台に座り試合を監視するアンパイアがいます。通常、直前にそのコートで行われた試合の敗者がアンパイアになります。

アンパイアの仕事は、選手のジャッジやポイントのコールに明らかな過りがある場合、即座に訂正することです。そのため、試合中はミスジャッジなどがないか注意深く試合を見ていなければなりません。

「長野県テニス協会ジュニア委員会が主管する全国大会につながる長野県予選大会は、

敗者によるローピングアンパイアを行います。」

試合で負けた選手は、同じコートの次の試合の審判(ローピング・アンパイア)を1試合お願致します。

審判台に上がり、カウントの確認と、ジャッジの確認、以上2点をお願致します。

間違っていた場合は、直ちにオーバーコールをし、判定及びカウントの訂正をしてください。

後で変えることは一切できません。その他、試合の中でわからない点等起きましたら、

その場で手を挙げてください大会役員が駆けつけます。

☆初めてテニス部の顧問になられた先生方への解説になりますが、継続して顧問をされる先生方もご確認ください。 年度当初にお読みいただき生徒への指導をお願いたします。

大会を主催・主管する団体は以下の2団体です。 大会要項や組み合わせなどは、各々のHPに掲載されます。

◎長野県高体連テニス専門部 (<http://tennis.ngn-hssp.org/> 各地区にもHPあり)

…高校総体および新人戦(選抜大会)は主催、国体予選および新人選手権は主管

◎長野県テニス協会 (<https://www.naganotennis.jp>)

…全日本ジュニア、国体予選、新人選手権などを主催

各種大会の申込み方法について 必ず事前に上記 HP で申し込み方法の確認をしてください。

1. **高体連主催大会は、以下の2カ所（各学校および指定されたアドレス）への申し込みが必要です。**

○**総合体育大会** ○**新人体育大会(選抜大会)**

- ①各顧問で高体連への登録をするとともに、各学校の体育科職員(高体連評議員)に大会参加に必要な認知書等の書類を提出。
- ②高体連テニス専門部専用の選手管理ソフト『れじす太』※1で申し込みファイル(専門様式)を作成し、各地区専門部HPで指定されたアドレスにファイルを送信。その際、体育科に提出した認知書とメール送信した申し込みファイル(専門様式)の内容(登録順位やペアなど)が合致しているよう十分に確認してください。 ※1『れじす太』は高体連テニス専門部HPでダウンロード

2. **長野県テニス協会主催の大会は、個人エントリー+学校ごとのファイル送信をお願いします。**

○**全日本ジュニア選手権** ○**国体予選** ○**全日本ジュニア選抜室内**

- ①長野県テニス協会への選手登録済みの生徒が、自分のスマートフォンなどをおして大会にエントリー。(学校単位でのネットによるエントリーはできません)
- ②高体連テニス専門部専用選手管理ソフト『れじす太』で、申し込みファイル(専門様式)を作成し、各地区専門部HPで指定されたアドレスに送信。※エントリー選手の確認は、締め切り後にHPでできます。

3. **以下の大会は長野県テニス協会の主催大会ですが、ネットによるエントリーは不要です。**

『れじす太』で作成した申し込みファイルを、指定されたアドレスにメール送信してください。

○**新人選手権の各地区予選** ○**ヨネックスカップ** ○**1年生チーム対抗戦**

高体連登録について

高体連登録は全員の登録をできるだけ4月に行ってください。マネージャーも登録してください。

高体連の登録者数や大会のエントリー数によって、各地区に割り当てられる県大会出場枠が変わる大会があります(比例枠)。

テニスウェアについて 全国高体連テニス専門部HP「度服装規定」をご覧ください。

1. **背中に学校名が入ったゲームシャツ(試合用のユニフォーム)は認められません。**

学校の体育着は着用できません(上下とも)。

2. **ハーフパンツは丈が膝よりも上でなければなりません。**

シャツ、パンツ、スカートの下にコンプレッションウェアを着用することは認められます。

3. **ウォームアップやウィンドブレイカーはテニス用のものを着用してください。**

背中に学校名が入っても構いませんが、メーカー名やロゴが大きく入る物は不可です。

4. **テニスウェア、キャップ、ラケット(面)にはロゴの大きさなどに規定があります。また、ラケット面にロゴ(“ステンシル”)が入ったラケットは使用できません。**

審判について

1. **入部後はできるだけ早くルールを覚え、審判ができるようにご指導ください。**

審判の仕方等については、長野県高体連テニスの公式ページの右下にある「テニスハンドブック」をダウンロードしてください。また、テニスのルールは日本テニス協会発行の「テニスルールブック」を参照してください。

2. **高校総体や新人戦(選抜大会)では、SCU(ソロチェアアンパイア)を選手および生徒補助員が行うので、試合に出場する生徒は必ず審判もできるようにご指導ください(顧問や競技役員が審判を行いません)。**

高体連の試合は、全国大会の決勝戦も補助員の生徒がSCUを行うのが原則です。この原則の根底には、

“コート上の主役は選手だけではない”という高校テニス独自の考えがある点をご理解ください。

※SCU・・・「IN」or「OUT」のジャッジは選手が行い(セルフジャッジ)、「スコア(0-40など)」や「ゲームカウント(4-3など)」のアナウンスをSCUが行います。また、選手のジャッジが明らかに誤っている際には、SCUがそのミス进行正します(オーバールール)。

3. **長野県テニス協会主催大会は、「セルフジャッジ」が基本です。**

アウトやフォルトをジャッジする審判はおらず、基本的に選手だけで試合を進行します(ネットから自分側のコートの判定はその選手自らが言い、相手のジャッジをお互いに尊重)。ただし、試合に負けた選手は、次にそのコートで行われる試合において、審判台に座ってその試合が正しく行われているか監視しなくてはなりません(ロービングアンパイア)。ロービングアンパイアの職務は、選手が行うジャッジの監視であって、ジャッジとポイントのアナウンスは、あくまでも選手自身が行います。

※ロービングアンパイアは、オーバールールはしますが、SCUのように「スコア」や「ゲームカウント」

のアナウンスは行いません。そこが SCU との大きな違いです。

4. 今年度からのルール変更

○高校総体団体戦の登録人数が4～5人に変更され、県大会以上の大会に4人でも出場できるようになります。

※昨年度までは・・・地区大会は4人でも出場可。県大会は不可でした。

○高体連が関わる大会（高校総体、新人戦など）、長野県テニス協会が主催する大会（全日本ジュニア、国体予選、全日本ジュニア選抜室内など）では、サービス・ノーレット方式が採用されます。

※ネットに触れてサービスエリアに入ったボールは、有効でサービスのやり直しになりません。正しく返球しないと失点になります。

※その他、不明な点は各地区専門委員長にお問合せください。

北信専門委員長:	山口 武（長野高校）
東信専門委員長:	正村 真一（上田西高校）
中信専門委員長:	勝家 康太郎（松本県ヶ丘高校）
南信専門委員長:	傳田 佳史（諏訪清陵高校）